

郵政民営化委員会（第198回）議事要旨

日 時：平成31年2月8日（金）9：30～10：35

場 所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

出席者：岩田委員長、米澤委員長代理、老川委員、清原委員、三村委員

日本郵政株式会社 小方常務執行役

日本郵便株式会社 山本常務執行役員、浅見執行役員、根岸執行役員

株式会社かんぽ生命保険 加藤常務執行役

1. 議事

- ・ 「2018年度年賀及びお歳暮期ゆうパックの状況」（日本郵便）
- ・ 「日本郵政とアフラックとの資本関係に基づく戦略提携」（日本郵政）

2. 委員会での説明・意見等

（1）2018年度年賀及びお歳暮期ゆうパックの状況【資料198-1】

① 説明の概要

- ・ 資料に基づき、日本郵便から2018年度の年賀及びお歳暮期ゆうパックの状況について説明。

② 委員からの意見等

- ・ 文字で伝えるという年賀状・手紙文化は大切であり、文部科学省と協力して、子どもたちが年賀状や手紙を作成するような習慣となる取組を実施してほしい。
（⇒ 全国の小・中・高等学校で実施している「手紙の書き方体験授業」は非常に好評なので、引き続き、このような取組を行っていく。）
- ・ 三鷹郵便局では、年賀はがきを回収し、トイレットペーパーにリサイクルするという取組をしているが、日本郵便全体としてそのような取組をしているのか。
（⇒ トイレットペーパーにリサイクルする取組は統一的な取組ではないが、各郵便局においてリサイクル活動に取り組んでいる。）
- ・ 来年度の年賀はがきとゆうパックについては、どのような見通しか。
（⇒ 年賀はがきについては、減少傾向をなだらかにするためにも、魅力ある商品の提供に努めてまいりたい。ゆうパックについては、損益改善の取組が今年の秋に一巡するので、それからどれだけ伸ばせていけるのか、しっかり取り組んでまいりたい。）

（2）日本郵政とアフラックとの資本関係に基づく戦略提携について【資料198-2】

① 説明の概要

- ・ 資料に基づき、日本郵政からアフラックとの戦略提携の目的、提携の具体的な内容等について説明。

② 委員からの意見等

- ・ アフラック・インコーポレーテッドへの出資金額は、全体の株主構成との関係からすると、どの程度の比重なのか。
（⇒ アフラック・インコーポレーテッドの現時点の時価総額が4兆円。この7%を取得することとなるため、現状ベースだと第2位の株主になる。）

- ・ アフラック生命保険と新商品を開発するとのことだが、(かんぽ生命保険と協力関係にある) 第一生命保険も含めて、他の民間保険会社はどのような反応なのか。
(⇒ 第一生命保険も含めて、他の金融機関から大きな反応があったということはないとの説明があった。)
- ・ 日本郵政とアフラック・インコーポレーテッドとの資本提携によって、日本郵便とかんぽ生命保険の間の利害の影響はあるのか。
(⇒ 同じく生命保険を販売するという意味においては、競合する部分もあり得るが、商品面の協力については、今回の資料中の提携の項目中にあるとおり、グループ各社及びアフラック・インコーポレーテッドの企業価値向上につながり、お互いがウィンウィンの関係になるように提携を進めていく。)
- ・ 協業の取組として、デジタルテクノロジーの活用をあげているが、具体的な効果をどのように見ているか。
(⇒ 具体的にはまだ決まっていないが、例えば、先進技術として、かんぽ生命保険はWatsonをコールセンターなどで使っているのに対して、アフラック・インコーポレーテッドは、本人確認に声紋認証を活用している。そういったそれぞれの会社の先端的な取組の中で、保険事務の効率化や利便性向上につながるような取組を考えたい。)
- ・ 今後、認知症が大きな問題となると思われるが、認知症に対応した保険商品についてどう考えているのか。
(⇒ 認知症に関する保険は、他社で既に発売がスタートしており、重要な取組と承知している。超高齢者社会が到来する中、認知症は早期発見が重要であり、そのためのサポートも含めて、生きるリスクの保障になるような商品開発を考えていきたい。)

以上

(注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。